



# 視 点 の さくら

SAKURA'S PERSPECTIVE

さくらの代表 松本緑が感じる最近の出来事を「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



## 「私のカレンダー」VS.「世の中のカレンダー」

学校や会社が週4日だったならこんなに苦しまずに生きていけるのに。『何をバカげたことを言っているか!!』あなたはそう思いますか? この意味の深さを保護者さん、そして支援者としての立場におられる方々には共感頂けると信じております。

自閉症スペクトラムの方々にとって家から一歩外へ出ることはそれだけで想像を絶する重圧との闘いなのです。感覚過敏により太陽の光は目に負担をかけます。湿度気温も自律神経を乱します。騒音は彼らの耳を酷使します。新しい出来事は彼らを不安にさせ、胸はドキドキ肩に力が入りっぱなしです。彼らにとって今日という日は新しすぎるのです。

いつものことじゃない、大げさな!! と言ってしまうのは、ある意味私たちが鈍感力を備えているからです。そして私たちは過去を都合よく塗り替えてたり忘れることができるからです。彼らはクリアーな記憶力を持っています。忘れてしまいたい嫌な体験を薄れさせることも、忘却の彼方に追いやれることもなかなかできません。

失敗体験は彼らの自信を容赦なく食い荒らしていきます。失敗しないようにと思う余りに毎日疲れ果てていきます。支援者ならば疲弊している彼らの姿を見てきてはいるはずですが、そしてそれでも頑張ろうとしている彼らの姿を見てきてはいるはずですが。

自閉症スペクトラムの成人の方が自宅勤務に切り替えることで、安定して会社勤めができるようになるのは周知されている事です。安心できる自宅という空間で働くことが認められたことで、環境の負担や人間関係のプレッシャーが減り、自分らしくいられるようになります。守られていることで素晴らしい能力が存分に会社のためにも発揮でき、会社は彼らが必要とし、彼らも必要とされる自分に自信を持つことができます。好循環が生まれています。週7日を当たり前前に刻む世の中のカレンダーが随分威張って壁に掛かっています。月曜日になったら学校へ行くものです。5日間は休んではいけないのですと言わなければなりません。

声をあげることのできない子どもたちの叫びは、私たち大人がちゃんと向き合い救いあげましょう。5日連続毎日何がなんでも登校することより、途中休憩を取りながら進む子どもがいて良いことを認めてあげましょう。元気を取り戻す日、自宅学習の日を取り入れてはどうでしょうか。リセット日です。休み癖がつく、他に示しがつかないと言われるでしょう。どうぞ子どもたちに起きている事実と向き合うことを面倒がらないで欲しいと思います。変化を嫌わないで欲しいと思います。

カレンダーは週7日を刻む必要があるのだから、当たり前を疑ってみる思考の柔軟性が教育現場に求められていると感じます。これは決して甘えでも逸脱でも脱落でもありません。呼吸することと同じです。ファッションも生き方も多様化した時代に学校だけがワンサイズの服しか売らない店のようになっています。1人1人のオーダーメイドを求めるのは難しいですが、息がつかまるほどサイズの合わない服を無理強いしていることを知らなければなりません。『理解してもらえないならば支援をしないでほしい。』この言葉は傷つきすぎた彼らの叫びです。決してわがままな発言ではありません。

### 指導者の心得

- 表情や活動レベルからその子の調子、不調のバイオリズムを観察しましょう。
- バイオリズムが不調の波にある時に更に追い討ちを掛けるほど苦しい環境に身を置き過ぎていないか見直しましょう。
- サーフィンイメージして下さい。自分に合った波を選んでこそ波にのれるわけです。大きな波でばかり練習させては溺れる怖ろしかりません。

## KOBE校初のペアレントプログラムを開催します!

10月7日(月) 【場所】KOBE校(＜三宮駅から徒歩10分＞神戸市中央区京町79旧居留地 日本ビルディング511) 【対象】神戸北野校に通われている保護者様、10:30～12:00 入学をお考えの保護者さま 【定員】8名 【参加費】3,000円(税別) 【お申し込み】コールセンターからお願いします

お問い合わせ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間: 平日 / 土曜 9:00～18:00]

開催日や開催校などの詳細情報は、ホームページ「さくら日記」(https://ameblo.jp/2503sakura/)でお知らせしております。ご参加お待ちしております。



INFORMATION



この度エリクソン校のプールにも虹が仲間入りしました。  
虹のシャワーのトンネルに、子どもたちも大喜び！



SST学習では「お手伝い」について学びました。  
お家で過ごす時間も長い夏休み。家族の一員として  
自分に出来ることは何だろう？ということ考えました。



SST学習では「味覚」について学びました。  
自分たちの好み、美味しいと感じる味を知る良い学びの機会となりました。



さくらっ子クラブの夏休みの工作では「さくさくりース」を作りました！  
同じ作品でも、仕上がりや作る過程は様々！



中学生・高校生を中心とした料理男子クラスではお好み焼きを作りました！  
回を重ねるにつれ、みんなそれぞれ話し合って役割分担し、手際良く作業出来るようになってきました。



夏休み工作のサクサクリースが完成しました！  
作品を見たケイキマナスクールの子どもたちも  
「可愛い」と目を輝かせていました！



## 8月の活動報告

ACTIVITIES IN AUGUST

さくらの日常を毎日発信している「さくら日記」から  
8月の活動をピックアップしました。



SSTグループでは、学校やさくらでプールを行うこの時期に  
「着替え」についての学習を取り入れています。  
たたみ方のコツをつかむことができました！



個別指導の休憩中に将棋をつくって遊んでいました。  
休憩時間に一緒に遊ぶために、  
数分で台と駒を作っていたのです！



夕方、フラワー校の目の前に大きな虹が出ていました！  
一日の終わりに嬉しくなった出来事でした。



ケイキマナスクールの保護者さまを対象とした勉強会では、  
実際にTEACCH課題をご覧いただき、  
ねらいや視点をご説明させていただきました。



さくらっ子クラブの実験遊びでは見本で実際の作り方もしっかり確認し、  
一人一人がやるべき事を理解しやすいよう、言葉、絵カード、実物など  
様々な事前準備をしています。



神戸北野校のドッキングプログラムでは水を入れたコップに食紅を溶かした油を注ぐ実験をしました！  
1色の食紅から緑に含まれる色素が分かれて溶けだしていく様子が、  
きれいだなぁ、不思議だなぁと興味津々でした♪



年長さんのTEACCH学習では、  
クレヨンケースの中に並べていきました。  
向きもキレイに揃えていますね！



神戸北野校ではグループの目標を確認しました。  
ルールを意識しながら楽しむことができました。